

令和3年度教育課程について

I 教育目標

1 学校の教育目標

- (1) 【自立】豊かな知識や優れた技能を身に付けるとともに、ものごとを正しく判断できる生徒を育てる。
- (2) 【健康】豊かでしなやかな心を育て、社会に貢献できる心身共に健康な生徒を育てる。
- (3) 【創造】日本の文化や伝統を尊重するとともに、新しい文化の創造と国際社会に生きる意欲ある生徒を育成する。

目指す生徒像

- 知 ・学ぶ意欲をもち、夢や希望に向かって努力する生徒
- 徳 ・正しい判断力をもち、秩序を守り、協力しあう生徒
- 体 ・健康な心と身体をもち、たくましく実践する生徒

目指す学校像

生徒一人一人が輝き、夢と誇りのもてる学校
〔活力のある楽しい学校・感動のある学校・美しい学校〕

指導の重点

自ら考え、行動する生徒の育成（志をもち、協力しながら行動する生徒を育てる）

活動の方法



「触れあい、磨きあい、響きあい」ながら

2 教育目標を達成するための基本方針

- 「触れあい、磨きあい、響きあい」の教育活動を推進する中で、組織として教育実践に取り組む。
- 教育計画をPDC Aサイクルに添って推進し、教育目標達成を目指す。
- 家庭・地域・小学校と連携し、地域とともに歩む学校づくりを目指す。
- 職員研修(授業改善・特別支援教育・教育相談)を充実し、教職員の教育力向上を図る。

3 教育目標を達成するための重点目標

(1) 触れあいながら

- ① 勤労体験やボランティア体験、交流体験等の体験活動を通して、多くの人と触れ合い、対人関係能力を育成し、望ましい人間関係づくりと社会規範意識の高揚を図る。
- ② スピーチや朝の読書活動を充実させるとともに図書室の有効活用とビブリオバトル・NIE教育をさらに推進し、活字に触れる機会を増やすとともに伝えあう力、コミュニケーション能力を高める。

(2) 磨きあいながら

- ① よくわかる授業の創造に努め、自ら学び、自ら考える力を育成し自己表現力を向上させる。
- ② 生徒の学習意欲を高め、学力補充（学習講座、質問教室、夏休み学習会）、指導と評価の一体化、教材・教具の工夫開発等を通して学力向上を目指す。
- ③ 英検対策講座の開催や国際交流などを行ない、未来の国際人の育成に努める。

(3) 響きあいながら

- ① 生徒会活動や部活動等において、生徒が主体的に活動する場面を設定し、自ら課題を見付け解決していく楽しさや喜びを体得させ、自ら活動する意欲をもつ生徒を育てる。
- ② 生徒ボランティア活動を推進し、社会貢献の精神を高める。
- ③ あいさつ運動からさらに取組を進め、互いに深く知り合おうとする生徒を育成する。
- ④ シティズンシップ教育においては、社会を構成する一員として、自尊感情をもち、健康な生活を送るために社会の中で他者と協働し能動的に関わる意識をもつ生徒を育成する。

(4) 地域とともに

- ① 学校評議員会や学校地域パートナーシップ事業の推進、また学校評価等を生かして、学校改善を図るとともに、保護者や地域住民の支援と協力を得て地域ぐるみで子どもを育てる。

- ② 土曜オープンスクールの実施や授業参観、文化祭、音楽会等の行事を公開する。
- ③ ホームページの更新や各種の通信による積極的な情報発信を行う。

II 長期的な指導の重点

1 各教科、道徳科、特別活動、総合的な学習の時間

(1) 各教科

◎主体的に学ぶ生徒の育成

- ① 各授業で個に応じた指導の工夫に努め、基礎的・基本的内容の定着を図る。
- ② 多様な教育機器や創意工夫した教材を活用して、興味関心を高める指導方法を追求する。
- ③ 学習の成果を発表させるなど、生徒の主体的な学習活動を充実させ、表現力の向上に努める。
- ④ 指導と評価の一体化に取り組み、学力向上と授業改善に努める。
- ⑤ 授業研究(生徒が主体的に学ぶ授業)を通して、指導内容や指導方法の工夫・改善に努める。

◎生涯にわたって心身の健康を保持し、運動に親しむ生徒の育成

- ① 学校教育活動のあらゆる場面を通して運動経験を豊かにすることにより、運動に意欲的に取り組む生徒を育てる。
- ② 規則正しい生活習慣を大切に、調和のとれた食事、適切な運動、十分な休養・睡眠の指導を徹底する。

(2) 道徳科

◎道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

- ① 生徒が自ら道徳性を養う中で、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるよう工夫する。
- ② 生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育てることができるよう、自分の考えを基に討論したり書いたりするなどの言語活動を充実する。
- ③ 生徒の発達の段階や特性等を考慮し、指導のねらいに即して、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等を適切に取り入れる。
- ④ 生徒の発達の段階や特性等を考慮し、情報モラルに関する指導を充実する。
- ⑤ 心に響く資料、教材を活用して生徒の心が動く場面を設定し、自己変革に迫る道徳教育に努める。

(3) 特別活動

◎集団の中で個性の伸長を目指す特別活動(各教科等と横断的・系統的に関連させた取組)

- ① 生徒の自主活動を活性化し、豊かな人間性を育成する。
- ② 生徒会活動の活性化を図り、生徒の自治能力を高める。
- ③ 勤労体験活動を通して、社会性の醸成を図り、たくましく生きる力を育成する。
- ④ 集団生活を通して、楽しく豊かな学校生活を創造する。

(4) 総合的な学習の時間

◎学習意欲の高揚と活力ある学校生活の創造

- ① 自然体験や社会体験、観察や鑑賞、見学や調査、発表や討論、ものづくりや生産活動など体験的な学習、問題解決的な学習を取り入れ、学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、学ぶ意欲を高める。さらに、探究活動等に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えさせる。
- ② グループ学習や異年齢集団による学習などの多様な学習集団、地域の人々の協力、地域の教材や学習環境との触れ合いにより、社会性を培う。

2 人権教育

- (1) 生徒一人一人を大切にしたい集団づくりを通して、健全で深い人間関係を構築する。
- (2) 「いじめ」や「障害児(者)への差別」等、身近な人権侵害に対して誤りを指摘し、解決しようとする人権意識や人権感覚を育成する。
- (3) 生徒に基礎的な学力を身に付けさせ、それぞれの個性・能力・願いに即した進路指導を行う。

3 生徒指導

- (1) 教職員と生徒一人一人との触れ合いを大切に、「心の通い合う生徒指導」の実践に努める。
- (2) 生徒の能力や適性の把握(生徒理解)に基づき、自己実現に向けてきめ細かな支援ができるよう、教職員が協力して教育に努める。
- (3) 社会規範を遵守し基本的生活習慣の確立に努める。
- (4) 生徒会活動を活性化させ、生徒の自治能力を高める。
- (5) 教職員がカウンセリングマインドをもち、心の教室(ピアルーム)の相談員と連携して教育相談を充実させる。
- (6) 不登校生を正しく理解し、関係機関や保護者・地域等との連携を図りながら指導を行う。

4 特別支援教育

- (1) 特別支援教育において生徒理解に努め、「困っている子への支援」という観点を大切にする。
- (2) 障害の状況及び特性等に応じた指導の工夫により、個々の個性や能力を伸ばす指導を工夫し、自立しようとする力を育成する。
- (3) 一人一人の課題に即した個別指導の充実に努める。
- (4) 集団生活における基本的な生活習慣を身に付けさせ、仲間と協力して活動できるよう、適切な支援をする。

5 進路指導

- (1) キャリアパスポートを活用することにより、自らの生き方を見つめ、将来に対する目的意識をもって、主体的に自己の進路を選択できる力を育成する。
- (2) 生涯にわたって、自己実現を図っていく能力や態度を育てるとともに、適切な支援をする。

6 保健・安全指導

- (1) 正しい健康観をもち健康意識の高揚を図り、保健に関する基礎的な知識を習得させる。
- (2) 生命の尊重を第一義に行動できる態度を育成する。
- (3) 施設設備を整え、より安全な教育環境づくりに努めるとともに、日常の安全点検をきめ細かく行う。
- (4) 登下校時及び学校における安全確保、安全管理に関して地域、家庭、学校が連携を密にして取り組む。

7 給食・食育指導

- (1) 身体の発達に伴う必要な栄養や食品に含まれる栄養素の種類と働きを理解する。
- (2) 食生活についての正しい理解と望ましいマナーを身に付けさせる。
- (3) 自分の生活の仕方や課題を見付け、自らの健康を保持増進できるようにする。

8 部活動

- (1) 本校「部活動の在り方に関する方針」に基づき、生涯にわたってスポーツや文化・芸術等に親しむ能力や態度を育む。
- (2) 生徒の健やかな体と豊かな心を育て、家庭や地域とのつながりを強め、また、学校の伝統を守りながら特色をつくり、愛校心を育む。

9 「美しい学校」づくり

- (1) 緑の多い学校づくりを推進し、特に植栽活動に力を入れる。
- (2) 環境美化を通して望ましい教育環境づくりを推進し、美しい学校をつくる。

Ⅲ 授業日数及び授業時数の配当

1 年間授業日数配当表

(4月1日現在の予定)

学年 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1年	15	18	22	14	0	20	21	20	17	16	18	17	198
2年	17	18	22	14	0	20	21	20	17	16	18	17	200
3年	17	18	22	14	0	20	21	20	17	16	18	11	194

2 教科等の授業時間配当 (時数は年間時数)

学年 \ 区分	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 家庭	外国 語	道徳	特別 活動	総合的な 学習の時間	授業 時数
1年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
2年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
3年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015